

希望の家だより

平成26年 12月号

いよいよ師走。衆議院選挙と重なり、いつも以上の気ぜわしい年の瀬を迎えました。この1年、地域の方々の協力で新事業も増え、利用者の皆さんは意欲的に作業に取り組んでいました。

利用者の皆さんと共に、今年1年のまとめと反省をしっかりとし、来年に向けて、より一層【明るく】【楽しく】【仲良く】をモットーに施設運営に努めて参ります。

今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

原子力災害避難訓練実施

10月24日（金）、泊原発の地震災害を想定した避難訓練が全道規模で行われ、原発から30キロ圏内の余市町の防災計画に基づき希望の家も訓練に参加しました。

当日は、事故発生を想定した役場本部から入る指示に従い、屋内待機から鉄筋コンクリート造りの中央公民館への避難訓練をしました。このような災害はあってほしくはないですが、備えあれば憂いなしの気持ちで真剣に行動していました。

「ショップ 絹子」で作品販売

10月29日から定山溪温泉のホテルミリオーネの1Fにあるブティックショップ「ショップ絹子」様のご厚意で、店内に希望の家で制作した品物を展示販売させてもらうことになりました。

このような大きな店舗での販売は初めてですが、利用者の皆さんは良い作品に仕上げようと制作活動に熱が入っています。

ホテルミリオーネにお越しの際は、どうぞ「ショップ絹子」にお立ち寄り下さい。



研修旅行



11月14日に自分たちが作った作品が、どのような所でどのように販売されているのか「ショップ絹子」の見学に行ってきました。たくさんの品物が陳列されている中に自分達の作った物も陳列されており、多くのお客さんが手にとっていただけることを期待した一日でした。

手作り陶器「籠」と「瓶」入賞

11月9日から開催されていた第40回余市町公募美術展に、4名の利用者が彫塑工芸部門に応募出品しました。その結果、なんと佐々木千晶さんの「籠」が最優秀賞の第40回記念賞を受賞し、小野寺康友さんの「瓶」が教育委員会奨励賞を受賞し、ダブル受賞の快挙となりました。本人はもとよりみんな喜び合いました。

二人は陶芸をはじめて1年足らずですが、「籠」は審査員の先生から創造性豊かで全体のバランスが素晴らしい作品であると評価され、また「瓶」はタタラ作りからの形成と色彩の美しさが良いと講評をいただきました。

2つの作品は希望の家の廊下前に飾ってあります。来所の折はどうぞご鑑賞下さい。



美容室フルサワ・くだもの村で作品展示販売

希望の家の近くにある「美容室フルサワ」様のご厚意で、



11月18日から店内のお客様待合ソファ前の陳列棚に、利用者の皆さんの作品を置かせてもらうことになりました。今後は大変雰囲気の良い美容室に合うような作品作りにも励んでいくつもりです。



髪のお手入れにお越しの際は、是非希望の家の作品を手にとってみて下さい。

また、リンゴやかぼちゃの皮むき作業のお手伝いをしている仁木の「くだもの村」様の店内のショーケースにも、希望の家の作品を展示販売しております。お立ち寄りの際はご覧になって下さい。



通所希望者募集

障害にくじけず、前向きに頑張っている仲間やスタッフがあなたを待っています。私達は、いつでも温かく迎え入れています。ご一報下さい。

希望の家 ☎ 0135-23-7115 担当 施設長 高橋 徹
【メール】 info@kibouno-ie.org 【ホームページ】 <http://www.kibouno-ie.org>